

「東京都がんポータルサイト」の リニューアルに係る流入分析について

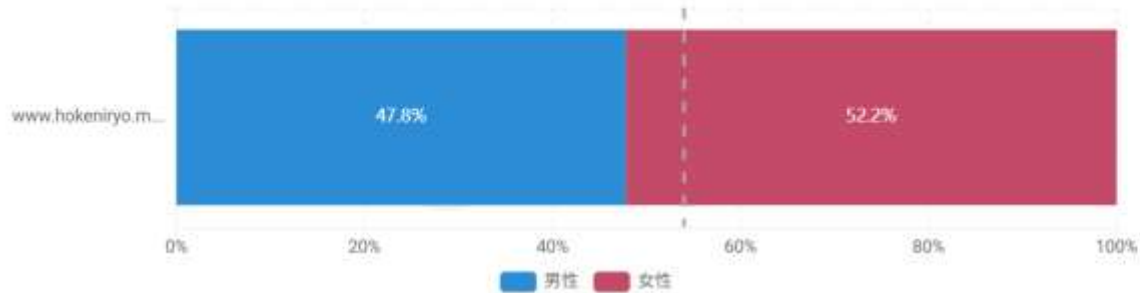
「東京都がんポータルサイト」の現在の流入傾向について

1 利用者の属性について

(集計期間：令和5年12月21日～令和6年12月20日)

ユーザー属性

性別



→女性の利用割合がやや多い

年代



→どの世代も満遍なく利用されているが、40,50代の方がやや多い

居住地域



居住都道府県



→都民の利用がほとんどを占める

「東京都がんポータルサイト」の現在の流入傾向について

2 利用者の流入状況について

(集計期間：令和5年12月21日～令和6年12月20日)



→平均滞在時間が短く、必要な情報に絞って閲覧する傾向

No	集客チャネル	アクセス数	ページビュー数	直帰率	平均滞在時間
1	自然検索	91,800	137,000	80.9%	00:39
2	ノーリファラー（=参照先不明）	13,100	40,000	52.5%	02:00
3	外部サイト	2,900	12,400	38.8%	01:24
4	ソーシャルメディア	600	1,100	33.3%	07:23
5	メール	100	100	100.0%	00:00
6	ディスプレイ広告	0	0	—	—
7	リスティング（=検索結果連動型広告）	0	0	—	—
8	アフィリエイト広告	0	0	—	—

→WEB検索サイト等からの自然検索が最も多い

「東京都がんポータルサイト」の現在の流入傾向について

3 アクセス数について

(集計期間：令和5年12月21日～令和6年12月20日)

No	検索ページ	参考URL	合計	PC	SP	その他
1	セカンドオピニオンとは	リンク	44,199	13,442	29,827	930
2	東京都内における緩和ケア病棟を有する医療機関一覧	リンク	30,970	12,410	17,719	841
3	東京都がんポータルサイト	リンク	15,673	11,962	3,548	163
4	緩和ケア病棟施設	リンク	13,175	4,415	8,383	377
5	がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会	リンク	9,856	6,539	3,175	142
6	がん診療連携拠点病院等	リンク	9,597	3,888	5,443	266
7	生検って、どんなことをするんですか？	リンク	9,422	3,158	6,078	186
8	小児がんの療養生活 ～知っておきたい10のポイント～	リンク	9,161	2,817	6,218	126
9	がんって何？	リンク	8,872	2,986	5,653	233
10	がん相談支援センターの概要	リンク	7,131	2,924	4,045	162
11	東京都若年がん患者等生殖機能温存治療費助成事業	リンク	6,722	3,423	3,226	73
12	東京都がん診療連携拠点病院	リンク	6,655	3,209	3,261	185
13	がん患者および家族一般都民向けの正しいアピアランスケアの情報	リンク	6,409	2,938	3,371	100
14	ホスピス・緩和ケア病棟の入院費はどのくらいかかりますか？	リンク	6,280	1,306	4,784	190
15	がん患者へのアピアランス支援事業	リンク	5,836	2,977	2,785	74

➡セカンドオピニオン、緩和ケア病棟、がん診療連携拠点病院等に関する情報が多く検索されている傾向

「東京都がんポータルサイト」の課題について

◆専門家分析結果

《利用者の属性》

○流入傾向から、都内の幅広い年代の「患者・家族等」の方が多く利用していると仮定すると、「患者・家族等」「医療従事者」を同じ配分で掲載してしまうと、バランスが悪く、見にくいサイトになってしまう

→「誰（＝メインターゲット）」が「どういう用途（＝ニーズ）」でこのサイトを利用するのかを考えることが必要

《流入状況・アクセス数》

○流入状況から、WEB検索サイト等からの検索が中心で、じっくり調べるより、必要な情報に絞って調べる傾向

○“セカンドオピニオン”“緩和ケア”“がん診療連携拠点病院”等が多く閲覧されており、個別の“がん”では閲覧されていない

→東京都のサイトとして信頼性が高い為、特に都内の医療機関に関する情報を調べるケースが多いと思われる

○アクセス数に顕著な差があることから、情報を広く網羅的に掲載し“幅広い人に見てもらえるサイト”ではなく、利用者が求めていることに対して、“困った時にこのサイトを見て助かったと思われるサイト”を指標とすべき

→「誰」が「どうなれば」、このサイトの目的が達成されるのかを考えることが必要

→東京都から伝えたい情報を載せる場合は、利用者が求めている情報とのバランスや優先順位付けが必要

《サイトの構造》

○掲載コンテンツの階層が深く、たどり着きにくい構造となっている

○病院検索機能がなく、現状はリンクをたどって利用者に病院を見つけてもらう仕様となっている

○対象者別（「患者・家族」「医療関係者」など）の動線が分かりづらく、掲載コンテンツの優先度も分かりづらいため、利用者に迷いを生じさせやすい

「東京都がんポータルサイト」リニューアル方針について

◎「都民」が「がんに関する知りたい情報に容易にアクセスし」、「治療や療養の選択や悩みの解決」ができるようにする

1. 「都民目線」で見やすく・分かりやすく・たどりつきやすいサイト設計を行う

- ・都民目線…メインユーザーである「都民（＝患者・家族等）」を中心としたサイト構成
- ・見やすさ…文字の大きさ、誰もが受け入れやすいデザインや配色、スマートフォン版における視認性
- ・分かりやすさ…タイトルや掲載情報をできるだけ平易な文章する、専門用語について補足情報ウィンドウ等を設ける
- ・たどりつきやすさ…低階層化・スクロール数の少ない構造、直観的ナビゲーション、病院検索機能の充実化

2. 掲載内容の整理にあたっては、掲載内容の優先度や管理のしやすさにも配慮する

- ・“セカンドオピニオン”“緩和ケア”等のアクセス数が多く、利用者が求めている情報の中には、階層深くに掲載され、たどりつきにくい情報もあることから、優先してアクセシビリティを確保していく必要がある
- ・東京都として伝えたい情報であっても、必ずしも利用者が求めている情報とは限らないため、利用者のニーズ等を踏まえた掲載の有無や必要に応じて他サイトを活用する等の掲載方法について、十分に検討する必要がある
- ・掲載内容が増えれば増えるほど、かえって見づらさを招いたり、持続的な管理が難しくなる点も考慮する必要がある
- ・デザイン・レイアウト等は公開後の大幅な修正は難しいが、掲載内容は公開後も随時、追加・修正・削除が可能

→利用者が求めている情報へのアクセシビリティを確保するとともに、管理のしやすさについても配慮する必要がある
掲載内容の検討に時間を要するものについては、令和7年度以降も引き続き掲載内容の整理を行っていく

3. センシティブな表現や個人の特定につながる可能性のある情報の取り扱いに注意する

- ・利用者によって傷つく可能性があるような表現や掲載情報は使用しない
- ・医療機関ごとの診療実績を掲載する場合、希少がん・難治性がんや小児がんなど、症例数が少ないものについては、症例数自体が個人の特定につながる可能性がある点にも留意しなければならない